

I 社会福祉介護研修センターの沿革

社会福祉介護研修センターの沿革

- 平成元年 大分県が「大分県社会福祉研修センター構想策定委員会」を設置、社会福祉従事者に対する研修のあり方について検討
- 平成2年3月 上記委員会で検討の結果「大分県社会福祉介護研修センター構想について」（中間報告）が出された。
- 平成2年4月 「社会福祉介護研修センター」の設置
中間報告を受けて、大分市大津町の大分県総合社会福祉会館内に「社会福祉介護研修センター」が設置され、従前から大分県社会福祉協議会が受託実施してきた社会福祉施設職員研修をこのセンター事業として引き続き受託することとなった。
- 平成4年7月 「介護実習・普及センター」の設置
新たに国庫補助事業として事業化された「介護実習・普及センター」を大分県社会福祉協議会が受託し、「社会福祉介護研修センター」において社会福祉従事者研修とともに、一般県民を対象にした介護教室等の研修を実施することとなった。
- 平成4年10月 「福祉人材情報センター」の設置
法律によって各県に1か所設置することとなった「福祉人材センター」を大分県社会福祉協議会が受託し、社会福祉介護研修センター事業と一体のものとして「社会福祉介護研修センター」において実施することとなった。
- 平成5年1月 福祉人材情報センターで無料職業紹介事業（福祉人材バンク）がスタートしたのにあたり「福祉人材情報センター」の名称を「福祉人材センター」に改めた。
- 平成5年4月 福祉機器移動展示車「豊の国ふれあい号」（5.5トン）運行開始（平成17年3月用途廃止）
- 平成5年10月 「大分県社会福祉介護研修センターの設置及び管理に関する条例（平成5年大分県条例第25号）」の公布
「大分県社会福祉介護研修センター管理規則（平成5年大分県規則第53号）」の公布
- 平成5年11月 大分県社会福祉介護研修センターの開設
大分県総合社会福祉会館内に設置されていた「社会福祉介護研修センター」、「介護実習・普及センター」、「福祉人材センター」を大分市明野東に統合移転し、新たに「大分県社会福祉介護研修センター」の名称で、「総務・人材課」、「社会福祉研修課」、「介護研修課」の3課で構成された組織として一体的に事業を実施することとなった。
（財）豊の国長寿いきいき振興センターへ業務移管されていた「高齢

者総合相談センター」（シルバー110番）もこの建物内に移転し、高齢者総合相談事業を実施することとなったが、あくまで別組織であった。

- 平成6年7月 「福利厚生センター大分事務局」設置
福利厚生センターから大分県社会福祉協議会が業務を受託し、総務・人材課が担当することとなった。
- 平成7年3月 九州初のウェルフェアテクノハウス（通商産業省工業技術院建設の先端在宅介護機器システム研究開発用施設）を設置
運営・管理は技術研究組合医療福祉機器研究所（平成12年4月、県に譲与）
- 平成7年4月 「高齢者総合相談センター」の統合
高齢者総合相談センターが大分県社会福祉協議会へ業務移管され、「総合相談課」として研修センター内の一つの課となった。
- 平成7年10月 清子内親王殿下ご来館
- 平成7年11月 常陸宮妃殿下ご来館
- 平成8年3月 利用者10万人を達成
- 平成10年7月 利用者20万人を達成
- 平成15年5月 秋篠宮文仁親王殿下、同妃殿下ご来館
- 平成16年12月 利用者50万人を達成
- 平成17年4月 「高齢者総合相談課」と「介護研修課」が統合され、「介護研修・総合相談課」となった。
- 平成18年4月 指定管理者制度の導入により、大分県社会福祉協議会が、大分県社会福祉介護研修センターの指定管理者（第1期）となった。
（平成18年4月～平成23年3月）
- 平成22年11月 皇太子徳仁親王殿下ご来館
- 平成23年4月 大分県社会福祉協議会が、第2期の指定管理者となった。
（平成23年4月～平成28年3月）
- 平成24年4月 大分県社会福祉協議会の組織改編により「課制」を廃し、「総務人材部」、「介護研修・総合相談部」、「社会福祉研修部」の3部体制となった。
- 平成25年4月 県がウェルフェアテクノハウスを災害物資備蓄倉庫に用途変更した。

平成25年11月	開設20周年記念「センターまつり」開催
平成27年4月	社会福祉従事者研修と介護関係研修の一体的企画運営、福祉人材センター機能充実強化等のため、「総務部」、「福祉人材・総合相談部」、「研修部」に組織改編を行った。
平成27年6月	利用者100万人を達成
平成28年4月	大分県社会福祉協議会が、第3期の指定管理者となった。 (平成28年4月～令和3年3月)
平成28年10月	福祉用具展示場内に「介護ロボットコーナー」を設置
平成29年4月	福祉用具研修と福祉用具展示場の一体的運営を図るため「介護研修・総合相談部」を設置。また長期的で幅広い観点から福祉人材の確保を推進するため「総務・人材部」を設置するなどの組織改編を行った。
平成30年2月	福祉用具展示場内に「おおいた産介護福祉機器コーナー」を設置
令和2年6月	新型コロナウイルス感染拡大防止及び研修受講者等の利便性向上の観点からオンラインによる研修を導入
令和3年4月	大分県社会福祉協議会が、第4期の指定管理者となった。 (令和3年4月～令和8年3月)
令和4年4月	福祉人材の養成及び育成に係る研修体制を「福祉人材センター」に集約。また、介護ロボット・ICTの普及・啓発の促進のために「介護ロボット普及推進班」を設置するなどの組織改編を行った。 「大分県保育士・保育所支援センター」を開所
令和4年6月	「大分県介護ロボット普及推進センター」を開所
令和5年11月	開設30周年記念「センターまつり」開催
令和6年4月	「大分県介護ロボット普及推進センター」を「大分県介護DXサポートセンター」に改称
令和8年4月	大分県社会福祉協議会が、第5期の指定管理者となった。 (令和8年4月～令和13年3月)

※ 令和8年3月31日現在の累計利用者数 1,431,676 名